



業務改善汎用ツールの導入

ー参加したきっかけ

約十五年以上前に、当時の理事長が「デジタル化しよう」と言って着手しましたが、時間もないし人材もいませんでした。また、五年前に導入した介護専用ツールもあまり浸透しませんでした。そんな中、アクセラレータ事業の案内を受け、これまでの苦い経験もあり、参加を決意しました。今となれば正解だったと思っています。

ーどのような取組み

全従業員でディスカッションを実施し、優先順位の高いものから実装していきましました。一番時間を取られていたのは「オムツの管理」です。単純にオムツの管理と言っても、年齢や体調によって使用するオムツは変わります。品物によって価格も変わります。顧客の費用負担を考えると、長期間見て、費用が下がる方向にしたいという気持ちがあります。過去のデータを引っ張り出して分析する時間は現場にはありません。キントールに入力していけば、関係するデータが一目瞭然になると考えました。また労務管理の面もデジタル化しました。出勤状況が見える化したので、急なシフト変更の際にも役に立っています。

ー導入効果について

キントールは、簡便で使いやすいです。当社の従業員の平均年齢は、五十から六十歳ということもあり、電子機器に苦手意識がある方々も使えることが、まず大きかったです。これまで事務に割いていた時間が大きく削減でき、顧客へ提供するサービスの質向上に繋がっております。例えば、利用者さんの多くが、ドライブが好きなんです。今では導入前より多く外出する機会を設けられるようになり、事業所内で開催しているイベントの質を上げたり、入居者さんを巻き込んで何かをする際に、その時間を充てることのできるの嬉しです。

ー今後の展望

高齢者と身障者の共同の施設を運営したいです。グループホームは高齢者とご家族をつなぐ端末の機能を有していると考えています。お預かりしている高齢者の方々に接する中で、ご本人が抱える苦悩や課題をお聞きする場面があり、必然的に人生ってなんなんだろうとか考えます。グループホームという名の下ではありませんが、人間全体を扱うべきところだと認識している。そういった点から、これからを担っていく若年層の皆さんに向けたセミナーハウスも開きたいと考えています。

ー介護記録の引き継ぎも楽になりました

介護記録の引き継ぎも楽になりました。顧客別に毎日記録している申し送り事項は、同じ内容を複数の書類に転記する必要があり無駄だなと思っていました。今では、自動的にデータ連携できるので引き継ぎのミスもなくなり、手間もかなり省くことができました。



有限会社ティーム

【本社】伊万里市黒川町大黒川1393-16

【TEL】0955-20-7123

- グループホームひなたぼっこ
- グループホームうらら

佐賀県DXアクセラレータ事業受託
支援実施事業者 株式会社十八親和銀行